

気鋭の政治学者

白井聡氏と読み解く

非営利 セクターの 最前線

一九九〇年代「新しい公共」として期待され、一九九八年に法制度も整備されたNPO。それから四半世紀が過ぎ、社会経済情勢は大きく転換しました。基調講演に白井聡氏を招聘し、資本主義との関わりから「非営利セクター」を読み解き、藤井絢子氏とのパネルディスカッションで次の四半世紀を展望するフォーラムです。

2.10_土 13:45~16:30
(開場 13 時 30 分)

会場 / ピアザ淡海 3 階 305 会議室
(大津市におの浜 1 丁目 1-20)

参加費 / 500 円 定員 / 70 名

第 1 部・白井 聡 氏 基調講演 13:55~(90 分)

「空間の新自由主義化にどう抗うか？」

第 2 部・パネルディスカッション 15:35~(50 分)

白井 聡 氏 × 藤井 絢子 氏



藤井 絢子 氏

お問い合わせ・お申し込み
大津市市民活動センター

①お電話、センター窓口で
077-527-8661 (大津市市民活動センター)
月~土: 9 時~19 時

②Web から
右の QR コードから
アクセス

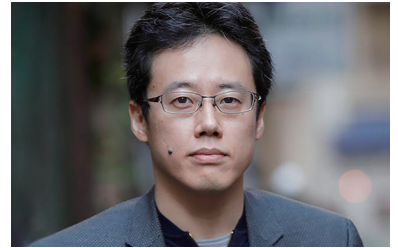


主催：大津市市民活動センター

出演者プロフィール

白井 聡 氏 —京都精華大学准教授—

1977年東京都生まれ。京都精華大学国際文化学部准教授。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位修得退学。博士（社会学）。専攻は政治学・思想史。『永続敗戦論——戦後日本の核心』（2013年）により、石橋湛山賞、角川財団学芸賞、いける本大賞を受賞。他の著書に、『国体論——菊と星条旗』（2018年、韓国で翻訳書刊行）、『武器としての「資本論」』（2020年）、『主権者のいない国』（2021年）、『長期腐敗体制』（2022年）などがある。近刊に『ニッポンの正体——漂流を続ける日本の未来を考える』（2023年）。



藤井 絢子 氏 —元 NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表—

1946年神奈川県生まれ。上智大学文学部卒業。同大学院修士課程単位取得。1971年より滋賀県に在住。夫と4女の家族と暮す日常から、食の安全性を求めて地域生協作りに関わるとともに、1991年には全国初の環境専門の生協を立ち上げた。環境問題の他、震災等の被災地復興など社会問題とも日々向き合い活動している。

全国に広がった観光と環境に寄与する資源循環モデル「菜の花エコプロジェクト」での「地域づくり総務大臣表彰」など受賞歴多数。著書に「菜の花エコ革命」他。リサイクルせっけん協会会長、日本環境会議理事、グリーン連合幹事など多数。



チケット購入方法

1.大津市市民活動センター窓口で購入

077-527-8661 大津市浜大津 4-1-1
明日都浜大津 1階（9～19時 平日、土曜）

2.Web から

右のQRコードから
アクセス



主催・お問い合わせ

大津市市民活動センター

077-527-8661（月～土：9時～19時）

〒520-0047
滋賀県大津市浜大津 4丁目 1-1
明日都浜大津 1階

E-mail: moveinfo@movementotsu.com



ホームページは
こちらから

会場アクセス

ピアザ淡海3階 305会議室

（大津市におの浜1丁目1-20）

- ・京阪電車石場駅から徒歩約5分
- ・車でお越しの場合はピアザ淡海の地下駐車場
または近隣の駐車場をご利用ください
（駐車場料金の割引はございません。ご了承ください。）

